

社会科学学習指導案

平成30年6月28日(木) 第2校時 3年D組教室
 授業学級 3年D組(40名)
 授業者
 指導教諭

1 単元名 「消費生活と経済」(消費生活を支える流通)

2 主眼

同じ商品でも店によって値段が異なっている理由を考える場面で、店頭の商品が並び、消費者の手に渡るまでの経路に着目して、資料「消費者までの経路」「流通にかかる費用」などの読み取りを通して、商品が店に並ぶまでには様々な業者が長距離の商品の移動のために流通として関わっており、その分の料金によって店頭の商品の価格が変わること、また新たな流通の形を模索して値段やコストを安く抑えようとしている企業があるということが分かる。

3 本時の位置(全4時間中 第4時)

前時: 消費者の権利について追究した。

4 本時の評価規準

・商品が店に並ぶまでには様々な業者が長距離の商品の移動のために流通として関わっており、その分の料金によって店頭の商品の価格が変わること、また新たな流通の形を模索して値段やコストを安く抑えようとしている企業があるということを説明できる。

5 展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応	◇教師の指導・援助	時間	備考
問題把握	1 資料を読み取り、学習問題を設定する。	ア 同じ商品なのに、店によって値段が違っている。 イ 同じ商品なのに、売っている店によって値段が違っているというのは、なぜなのだろうか。	◇導入資料1をパワーポイントで提示し、読み取ったことを発表するように促す。 ◇イのような発言を全体に位置付け、学習問題を設定する。	5分	導入資料1「同じ商品で値段が違う比較の画像」
	2 学習問題に対して予想を立てて発表し、追究の見通しをもつ。	ウ お店によって出したい利益の大きさが違うからではないか。 エ お店に並ぶまでに別の業者が関わっているからではないか。 オ お店の従業員の給料が含まれているからではないか。	◇ワークシートを配付し、学習問題に対する予想を発表するように促す。 ◇エ、オのような、お店と消費者という二者以外の部分へのコストに着目した発言を全体に広げ、学習課題を設定する。	10分	
追究	3 予想を明らかにするための資料を読み取り、分かったことを発表する。	学習問題: なぜ同じ商品でも、店によって値段が異なるのだろうか。 カ 資料1・2から、商品が実際に消費者の手に渡るまでには、生産、卸売業、運送、倉庫での保管など様々な仕事が行われているということがわかる。 キ 資料3から、流通は商品の長距離移動のために必須で、内陸で魚を売るなど移動が必要な商品の販売を支えているということがわかる。 ク 資料4から、商品の値段には流通に関わった仕事へのお金も含まれており、流通の形が異なれば、同じ商品でも店によって値段が変わるといことがわかる。 ケ 資料5・6から、近年では、販売、流通の形も変化してきており、様々な形態での販売が行われているということがわかる。	◇資料1~6を配付し、資料から読み取れることをワークシートに記入するように促す。 ◇机間指導を行い、各資料をどのように読み取っているかを確認しながら、指名計画を立てる。 ◇一つ一つの資料の読み取りで終わっている生徒には、関連付けて考えられる資料があるか考えるように促す。 ◇ワークシートに記入したことを発表するように促す。 ◇カやクのように、流通に様々な仕事が行われており、値段の違いの理由が流通にあることに着目した意見を全体に位置付けて板書していく。	25分	資料1「消費者までの経路」 資料2「流通を支える仕事」 資料3「流通がなかったらどうなる? 流通の必要性」 資料4「流通にかかる費用」 資料5「流通の合理化」 資料6「オンラインショッピング」
	4 今日の学習を振り返り、分かったことをまとめる。	本時の評価規準に達していない生徒への手だて ①流通について理解できていない生徒は、資料1を共に確認する。 ②値段の店ごとの違いの理由が理解できていない生徒は、資料4を共に確認し、異なる店における流通経路と値段の比較によって理解を促す。 コ 商品が店に並ぶまでには様々な業者が長距離の商品の移動のために流通として関わっており、その分の料金によって店頭の商品の価格が変わること、また新たな流通の形を模索して値段やコストを安く抑えようとしている企業があることがわかった。 カ 流通以外に、世の中ではどんな企業が活躍しているのだろうか。	◇授業を振り返り分かったことをワークシートに記入し、発表するよう促す。 ◇コのように、全体の流れを総括しつつ、キーワードを抑えた発言を全体に共有する。 ◇カのような発言を全体に広げ、次時につなげる。	10分	